

多高通信

第142号 平成29年5月29日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

Science Edge 2017

3月21日、22日の2日間、茨城県つくば市のつくば国際会議場で行われた「つくば Science Edge 2017」に、科学部有志、災害科学科有志の計8名が出場しました。国内外から合わせて68校・204のチームが、日頃の研究成果をポスターセッション等で発表し合いました。また、韓国、台湾、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、シンガポールと日本の中高生約100名で国際交流会が行われ、ゲームをしながら親交を深めました。

堀越 萌

(2年7組 小金井二中出身)

つくば Science Edge に参加して、他校の発表を聞くことで、発表の内容だけでなくテーマの決め方やポスターのまとめ方、進行の仕方などができました。また、国際発表や2日目にあったワークショップでは、英語の発表を聞いたり大学の先生や国際的な仕事をしている方からの講義を受けるなど、貴重な経験をする事ができました。



これからは課題研究や研修の機会があると思うので、今回学んだことを活かしていきたいと思っています。

今年も満員御礼ありがとうございます！

吹奏楽部第40回定期演奏会

ゲスト指揮 植田先生

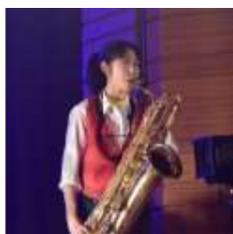


5月7日、多賀城文化センターにおいて、本校吹奏楽部の第40回定期演奏会が行われました。今回は、福井県武生商業高等学校吹奏楽部顧問の植田薫先生をゲスト指揮者

としてお迎えしました。マーチングステージでは、話題の「美女と野獣」を上演するなど、様々な工夫を凝らしたステージで楽しませてくれました！

吹奏楽部部长 阿部愛優子

(3年2組 塩竈三中出身)



今年も昼夜2回の公演で、例年より早い時期での開催となりました。例年の反省を生かしよりよいステージになるよう早くから準備を始めたつもりでしたが、なかなか思うようにはいかず、本番までの日にちが近付いていくにつれ焦りを感じ、部員同士でぶつかり合うこともありましたが、演奏会を成功させたい、感動できる音楽を作りたいという思いは同じで、部員一同力を合わせて今回の演奏会を作り上げることができました。

今年は、多賀城高校吹奏楽部の十八番「Under the Groove」の生みの親である植田薫先生をゲストに迎え、ファンキーな演出で会場が一体となり、過去最高の盛り上がりとなりました。

ご来場して下さった皆様、いつも支えてくださる方々、地域の方々、本当にありがとうございました。これからも多賀城高校吹奏楽部をよろしくお願



洞爺湖有珠山ジオパーク巡検

5月8日～10日、災害科学科2年の有志4名が北海道室蘭栄高校との合同巡検に参加しました。

9日の巡検当日は、洞爺湖有珠山ジオパークをフィールドに、2000年(平成12年)に実際に噴火活動が見られた西山山麓火口コースにおいて、断層によ

つて道路が寸断された現場に立ち入りたり、当時の噴火口に降りるなど、目で見て手で触れる実習となりました。午後には4つのテーマに分かれて課題

研究を行い、本校生徒は旧とうや幼稚園付近にて噴石の軌跡に関する調査を行いました。

10日には、国立大

洞爺湖有珠山ジオパーク
西山山麓の火口



学法人室蘭工業大学の協力のもと、安居光圀准教授によるDNAの抽出と電気泳

動の実験を行い、その後航空宇宙機システム研究センターにおいて、内海政春教授、中田大将助教の二人の案内のもと施設見学を行いました。

伊藤謙心(2年7組 多賀城中出身)

私は、火山の被害に遭った場所を今回初めて訪問しました。火山による被害は、津波とはまた違う種類の被害でした。幼稚園の園庭は斜めに傾き、園庭にあったバスには火山が噴火した際に飛んできた岩で天井に沢山の穴が開いていました。この様に物的被害のすさまじさの割には人的被害がほとんど無かったのは本当に奇跡だと思いました。これからは、私が見てきた光景を、より多くの人に伝えながら、防災・減災に関する理解を深めていきたいと思います。



室蘭工業大学での実習・見学

頑張れ多高生！ 県総体直前特集

6月3日に県高校総体を控え、県大会壮行式が5月16日に行われました。地区予選を突破した部の他に、雨天のため地区予選が中止となり県大会からの戦いとなった部もあり、選手の皆さんは真剣な表情で応援を受け止めていました。

高校総体まであと少し。選手の皆さんは体調管理に専念し、ベストのコンディションで試合に臨んでください。燃えろ！我らが多高生！

◎激戦の地区予選を勝ち抜いた男子バスケットボール部

男子バスケットボール部

男子バスケットボール部部长 佐藤 武蔵



(3年7組 東北学院中出身) 私たち男子バスケットボール部は、県大会ベスト16を目標に日々の練習に取り組んでいます。体育館は屋内競技の部活動が交替制で使用しているため、体育館割り当ての無い日は体育館の外で走り込みをしています。技術はもちろん大切ですが、その技術を生かすためにも、試合の最後まで走り続けることができる脚力・体力が必要です。少しでも内容の濃い練習となるよう、一人一人が考えて行動しています。

県大会では目標達成のために、自分たちが練習してきたことを信じて全力で試合に臨んでいきます！

◎地区予選中止により県大会からの戦いとなったソフトボール部

ソフトボール部部长 山下 莉央

(3年4組 みどり台中出身)



私たちソフトボール部は、仙台東高校・松島高校と3校合同で県総体に参加します。合同チームではありますが、チームの雰囲気はとても良く、やる時はやはり、楽しむときは楽しむメリハリのある明るいチームです。試合ではもちろん勝つことが大切ですが、ソフトボールをチーム全員で楽しんでプレーしています。

県総体での目標はベスト16以上で、チーム一人一人がその目標の達成に向けて日々練習に励んでいます。ベスト16以上に入ることは簡単ではなく、個人の技術以上に勝利へ向かう気持ちは大切になります。そのため、毎日の練習では対戦校との試合をイメージしたり、練習試合を通して合同チームの心を一つにして取り組んでいます。県総体では一人一人が全力でプレーをし、悔いを残さず楽しく戦ってきます！